

# 第84番札所 南面山 千光院 屋島寺

— 風向明媚な山に建つ、太三郎狸が見守る寺 —

本尊：千手観世音菩薩  
 所在地：香川県高松市屋島東町1808  
 TEL：087-841-9418  
 宿坊：なし



屋根のような台形型が特徴的な溶岩台地、屋島。源平合戦の古戦場として名高く、瀬戸内海を望める景勝地としても有名な、この山の南嶺に「屋島寺」があります。

寺伝によると唐から来日していた鑑真和尚が都に向かう途中に立ち寄り、北嶺に堂宇を建てたのがはじまり。のちの815年に、嵯峨天皇の勅願を受けた弘法大師が堂宇を現在の南嶺に移したといわれています。

現在の本堂と梵鐘は鎌倉時代に作られたもので、共に国指定の重要文化財。また境内にある宝物館では、藤原時代の作でカヤの木一本造りの本尊、十一面千手観音坐像が拝観できるほか、源平合戦屏風など源平の争乱を伝える資料や雪舟が描いた滝見観音など、たくさんの宝物が収蔵されています。

そして、この屋島寺には「日本三名狸」のひとつといわれ、四国の狸の総大将と崇められる「太三郎狸」がまつられています。寺を訪れた盲目の鑑真を太三郎狸が導いたという話や、霧深い道の中で迷っていた弘法大師の前に蓑笠をかぶった老人の姿で現れ案内したと話など、数々の伝説をもつ狸で「蓑山大明神」として屋島を守護しています。幼子を抱いた狸夫婦の石像はとても愛らしく、夫婦円満や子宝授け、縁結びを祈願する参拝者が後を絶ちません。

